

拜啓 五月以来悪天候で、

十月に入り、ようやく回復して、

願ひが叶います。あえ、

と、お慶び申しあげます。

九月二十六日 祖 紐入り。翌々、

連れ、裏わき通、行、

行、帰、

子、

台風九号来龍で予定一日早めて二十八日に

石垣に逃げ、八月二十九日那覇朝。三日月は

知古屋の地蔵か。今夜の夜遅く帰る。い

て人ふこと。ついに目のなかやぶ。まことに残念

でいゝ。帰して十七日付けの平紙拝受

いゝような紙です。

いゝよう。台傍。唐川をどりお祭りで

わっわが悔やまう。その夏三日月の新

皆を不慮に失ひしを、病人やう振舞ひで動き

おとやうおとやうと、おまに計画するところなり

そうして、目下、大学院生一人と、バニー

海峽、小島島に旅遣してあり、この予察の

成果と樂しまれてありなり、

野田的余福は、おつたので、鹿、川

再び、おれとて、おまのよう、おれです。

あのもう、あま、おま、保存さう、おれ、現

に
配
て
る。

一の
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

師
教
示
。

在
此
中
一
本
十
二
三

多
 藝
 下
 候
 つ
 づ
 出
 り
 .
 あ
 り
 せ
 る
 へ
 お
 り
 .
 人
 海

の要業の因果を思ふ

[illegible]

師 健 勝 王 人 子 子 新 々 申 一 あ げ 子 子

私 は あ の 幸 々 子 子 神 戸 の 大 学 を 退 職 し 子 子

う ぞ 子 子 子 子 自 由 自 在 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子 子

く 子

恭 具

一 九 九 八 年 一 〇 月 二 〇 日

石 垣 金 星 一 郎

石 垣 金 星

子 子 子 子

速達
9 0 7 1 5 4 2



速達

石垣金星

集札

坤
繩
島
一
重
山
祖
納

一九八四年一月二日